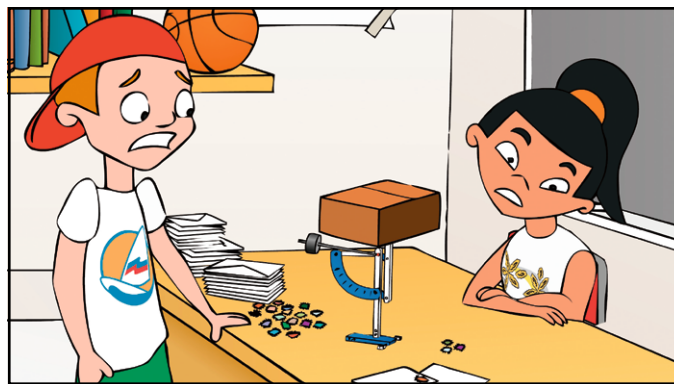


レタースケール

名前: _____

どうしたらクラスメートが持ってくる手紙や小包の重さをきちんと量り分けることのできる、スケール(はかり)を作ることができるでしょうか? さあ、考えてみましょう!



レタースケールを組み立てる

6Aの組み立て説明書と、6Bの組み立て説明書(手順1-20)を参考にしてください。

- レタースケールの動作を確認しましょう。スケールの一番上にある、青い皿を指で押してみます。動きがスムーズでない場合には、軸受けをゆるめ、その他の部品がきちんとはまっているか確認してください。
- 心棒上の釣り合い重りの位置を変えて、針をリセットしましょう。

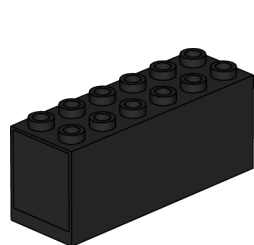
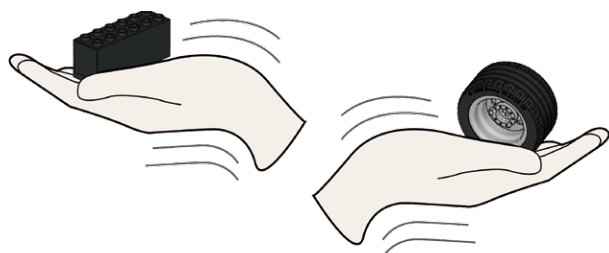


手と機械: どちらが正確?

- 準備した5つの物を、手で持った感覚で、一番軽い物から重い物まで順番に並べてみましょう。
- その結果を、表に書き込んでみましょう。
- 次に、それぞれの重さを予測します。
- 予測の後、レタースケールで実際に重さを量ってみます。

アイデア:

重さを予測するときに、すでに重さがわかっている物(分銅など)を参考に、予測する物の重さを考えてみましょう。



53 g



16 g

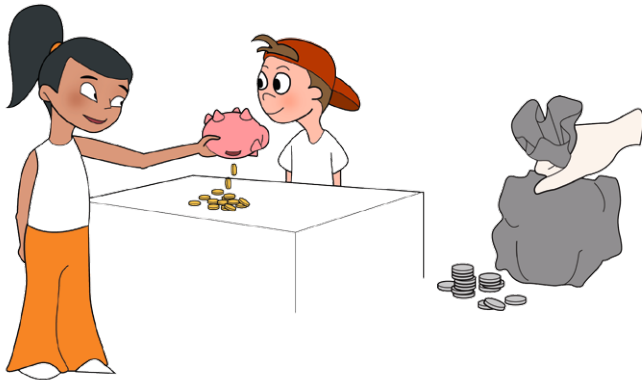
	物の名前	私の予測	測定結果
1		g	g
2		g	g
3		g	g
4		g	g
5		g	g

金貨の入った袋

袋に入っている金貨もしくはコインの枚数を予測し、重さから枚数を出してみましょう。組み立て説明書6B、12-16ページ、手順1-12(赤い数字表記)に基づいて、回転針付きのはかりを組み立ててみましょう。

- 5、10、20枚それぞれのコインの重さを量り、スケールに円などの通過で印をつけましょう。
- 「金貨の入った袋」にコインが何枚入っているか予測した後に、重さを量りましょう。
- コインの数を数え、予測が当たっていたか確認しましょう。

私の予想	測量結果	硬貨の枚数



私の体重計

オリジナルの体重計のデザインを描いて、説明書きを加えてみましょう。優れているところを3つあげてみましょう。